

# 収穫体験教室 2020

## ～野菜と和食の魅力を知ろう～

代表者 田中 千帆 (農学部応用生物科学科 2 年)

### 1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、地域の人たちに野菜を多く使った健康な食生活をしてもらうために、野菜の魅力を伝え、食べる機会を促していくことを目的とする。具体的には、小学生をターゲットに、野菜栽培だけでなく、野菜を多用している和食にも焦点を当て、野菜の魅力や和食の魅力について伝えていくものです。

### 2. 実施期間 (実施日)

令和 2 年 6 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

### 3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、播種、収穫、和食作り体験を実施しました。播種体験では、ペットボトルを使った簡易ポットに二十日大根の種を植え、種をまいた後も自宅での水やりを通じて栽培過程の観察ができる様に、二十日大根の育て方を載せた冊子を配布しました (写真 1)。収穫体験では、サツマイモの収穫を行い (写真 2)、和食作り体験では、収穫したさつまいもを使って和食を作りました (写真 3)。地域の子供たちに野菜の栽培過程から、和食として調理して食べるところまでを体験してもらいました。



写真 1 : 播種体験



写真 2 : 収穫体験



写真 3 : 料理体験

企画終了後に実施したアンケートでは全参加者の企画への満足度が95%であり、今後の参加への前向きな意見も多く、参加者の方に好評でした(図1)。今回の企画では、今までのアンケート結果で播種の体験がしたいという意見を取り入れ播種を行いました。今回のアンケート結果で播種への評価があまり良くなかったことと、収穫体験と料理体験が好評だったことから、今後は播種の内容を改善した収穫と料理企画をする方が良いと思いました。

#### ○アンケート結果

	参加人数
小学生	12
保護者	8
合計	20

#### ・全参加者

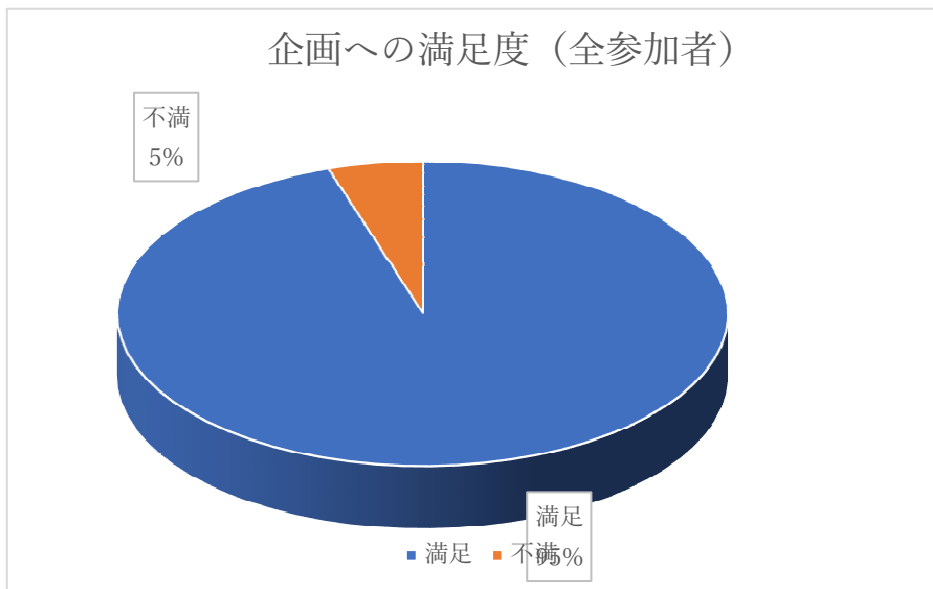


図 1

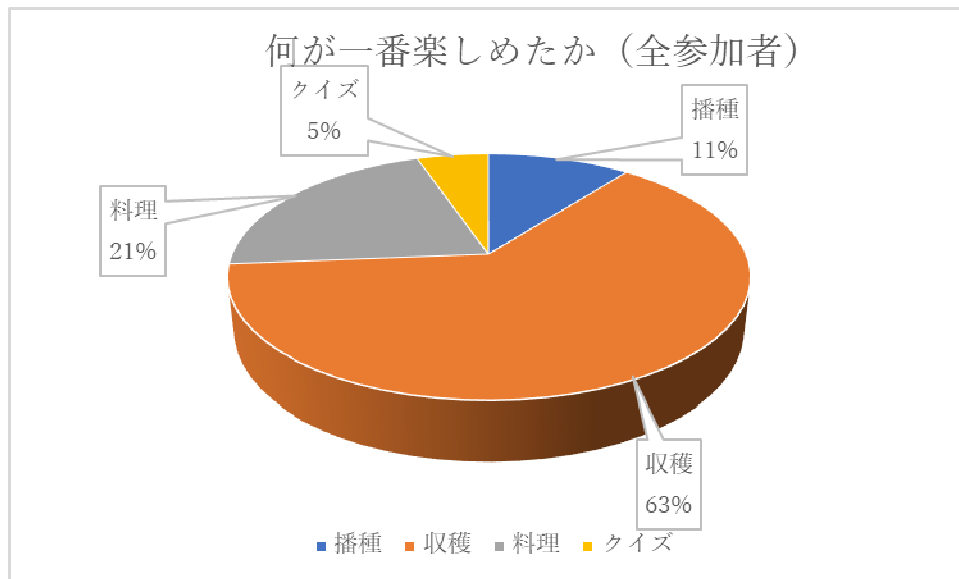


図 2

このプロジェクト事業により、地域の子供たちに野菜と和食の魅力を伝えることができました。そして、子供たちに和食の良さを認識してもらうとともに野菜に関する知識を深めてもらう良い機会になりました。

#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、食の安全という面から地域社会への貢献ができたと思われまます。私たちの活動によって地域社会に対して農作物と和食という大きな範囲での知識提供に加え、多くの方に関心を持ってもらうことができました。

また、農学部の学生の活動も外部にPRでき、本学と地域社会のつながりを増やすことができたことから、本学の地域に根差した大学づくりの手助けができました。

収穫体験の活動では小学生の子供たちを対象としたことであまり携わることが少ない農業や農作物に関心を持ってもらえ、野菜についても正しい知識提供ができたと思われまます。また、参加者は今回行った播種体験で、家庭菜園に触れ、農作業に対しての価値観や印象を変えるきっかけを作ることができました。

なお、和食作り体験の活動では、小学生をターゲットに、野菜の魅力や和食の魅力について伝えることができました。また、和食離れが進む現代に、和食の良さや作り方を体験することで、和食に関する意識改革や、和食に対して興味を持つきっかけ作りになったと思います。

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

学生が主体となって企画を考え実行する中で、責任感をもって最後までやり遂げることの大切さを学びました。企画を考えるのにメンバーの協力が必要な中、今年はコロナの影響で直接会うことが難しく、例年通りにメンバーと集まって話し合うことができな

かったので、企画の話し合いをリモートで行ったり、コロナで3密にならないように企画の準備をいくつかのグループに分担して行いました。今回の企画全体を通して、収穫班メンバー同士で協力し合うことの大切さを学び、状況に応じて臨機応変に対応する力を身に付けることができたのではないかと思います。また、収穫体験教室の時に子供たちと話していると、「クイズをもっとしたかった」とか、「播種のペットボトルの土を入れる部分が少し小さかった」などの声を聞き、小学生の視点で考えると私たちが思っていないことに気づくこともあり、参加者の声を聞くことも大切だと感じました。今回の企画を通して、このような経験を学生のうちに体験することが出来て、大変有意義でした。

## 6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

反省点は、連絡が行き届かず、企画準備の進行が遅れてしまったことです。来年度では、積極的に連絡を取り合い、スケジュールを共有することで改善していきます。

また、構成員の播種への知識不足が感じられる場面もあったため、今後は知識の共有も行っていきます。また、来年度では計画をより具体的にすることで正確な企画進行を行っていきます。

今後は、田植え体験と味噌作り体験を行うことを検討しています。

田植え体験では、香川淡水魚研究会から高齢のために田んぼを休む方がおり、その農家の方が土地を貸してくださるなら、稲作を継続していきたいという話を伺いました。また、収穫体験教室で、田植えをしてみたいという声も多数いただき、田植え体験を行うことを検討しています。

また、味噌作り体験では、試作を既に行っており、試作での問題点やアレンジ方法などを考えています。

最後になりましたが、私達の活動の指導をしていただいた農学部小川先生、渡邊先生に感謝いたします。今後どうぞよろしくお願いいたします。

## 7. 実施メンバー

代表者	田中	千帆	(農学部2年)			
構成員	伊藤	有里	(農学部2年)	篠田	小雪	(農学部2年)
	緒方	優花	(農学部2年)	玉牧	夏織	(農学部2年)
	加藤	由夏	(農学部2年)	前川	晃輝	(農学部2年)
	河瀬	美里	(農学部2年)	森田	大晴	(農学部2年)
	北村	優渚	(農学部2年)	安井	博昭	(農学部2年)
	杉山	結萌	(農学部2年)	石川	茉依	(農学部1年)
	蛭子	陽花	(農学部1年)	太田	千那海	(農学部1年)
	小野	綾夏	(農学部1年)	河合	柚希	(農学部1年)
	島田	尚季	(農学部1年)	諏訪	翔	(農学部1年)
	田浦	妃梨	(農学部1年)	田淵	香子	(農学部1年)

寺尾 陽（農学部1年）  
 山下 紗葵（農学部1年）

宮本 恭佳（農学部1年）  
 山本 花奈（農学部1年）

## 8. 執行経費内訳書

配分予算額		92,384円		
執行経費（品目等）	数量	単価(円)	金額(円)	備考
マスク	1		968	
ブラザーLC3111-4PK4色パッキンク	1		4,378	
試作兼食材費			35,304	
DCMステンレス包丁	3	1,097	3,291	
DCMセラミックピーラーブラウン	4	217	868	
DCM おろし・ピーラー芽取り付	2	217	434	
DCM ステンレス包丁 三徳 165mm	3	1,097	3,291	
DCM 丈夫なボウル 15枚入り350m	8	162	1,296	
DCM 紙コップ 120個入り205mL	1		305	
DCM 名刺用紙20枚S16-ME01	1		547	
手付きポリ袋 Mサイズ約10L 25枚	1		140	
DCM エコ元禄割り箸 100膳	1		195	
ポリエチレン手袋 M 100枚	1		547	
DCM クッキングシート	1		217	
ブラザー 交換用インク IRH-B3111-4P	2	3,278	6,556	
エリエール超吸収キッチンタオル 4ロール 50カット	3	217	651	
アクール ボール 27cm	3	1,097	3,291	
DCM 丈夫なプレート 8枚入り 26cm	2	162	324	
DCM 丈夫なボウル 10枚入り 680mL	2	162	324	
DCM 丈夫なボウル 15枚入り 460mL	2	162	324	
DCM 丈夫なボウル 15枚入り 350mL	4	162	648	
DCM 漬物樽 丸5型	3	492	1,476	
DCM 軽いフライパンカバー M 22 ~26cm用	4	767	3,068	
DCM フッ素コートフライパン	5	547	2,735	

26cm				
DCM ゴミ袋 45L 50枚入り 半透明	1		4 3 7	
DCM 業務用取っ手付きポリ袋 半透明10L 30枚	1		2 5 0	
DCM 贅沢泡スポンジ2個入り 食器用	2	2 8 3	5 6 6	
ニチバン 再生紙クラフトテープ 50mm×50m	1		2 1 7	
IH	1		1 0, 5 6 0	
DCM IH ダイヤモンドコート フライパン 26cm	2	2, 1 7 8	4, 3 5 6	
DCM ステンレス包丁 三徳 165mm	3	1, 0 9 7	3, 2 9 1	
DCM ダイヤモンドシャープナー スタンドタイプ	1		1, 0 9 7	
おいしい水養老山麗 2L	1		4 3 2	
合 計			9 2, 3 8 4	